

2015 SUPER GT 総集編

シリーズランキング5位、開幕戦と最終戦で2度優勝を飾るもポイントを累積できず

昨年のシリーズ2位という結果を受け、「今年こそは」と誰もが優勝争いを期待した「スーパーGT2015シリーズ」。その期待に応え、開幕戦優勝という最高のスタートを切った「KeePer TOM'S RC F」。

しかし、この勝利が重量ハンディとして最後まで響き、最後は5位で閉幕。それでも最終戦を再び優勝で飾るなど、最後に意地を見せてくれた。ファンの願いはただひとつ、「この悔しさを糧に、来年こそチャンピオンを」。



前半戦

2年連続で開幕戦優勝！シリーズ制覇に向け視界良好！

昨年に続き、開幕戦を勝利で飾った「KeePer TOM'S RC F」。その後の表彰台は逃すも、着実にポイントを重ね、前半戦を3位で折り返すことに。シリーズ優勝を射程圏内にとらえ、チームやファンの期待はさらに膨らんだ。

【開幕戦】開幕戦を勝利で飾りシリーズ優勝に向けて好発進

今年もスーパーGT2015に参戦した「KeePer TOM'S RC F」。参戦4年目のアンドレア・カルダレリと、初のレギュラードライバーを務める平川亮のコンビで悲願のシリーズ優勝を狙う。

開幕戦の舞台は岡山国際サーキット。今後の行方を占う上でも非常に重要な一戦だ。そんな重圧のかかる開幕戦で大仕事をやってのけたのが、シリーズ初参戦の平川。予選でコースレコード(1分19秒008)を記録し、ポールポジションを獲得。新人らしからぬ度胸と大舞台での勝負強さを発揮し、チームを勢いづけるこれ以上ない最高のスタートとなった。

続く決勝レースでも「KeePer TOM'S RC F」は躍進する。予選で大活躍を見せた平川に負けじと、今度はエースドライバー・カルダレリが意地を見せる。序盤から2位との差を大きく広げるなど終盤レースを牽引。良い流れで平川へとハンドルをつないだ。そして後半。ここでも平川が見せ場を作る。スリッピーな路面に苦戦するも、最終的には2位と42秒差をつけてチェッカーを受けた。弱冠21歳にして岡山国際サーキットスーパーGTコースレコードを樹立してのポールポジション獲得、スーパーGTドライバーデビューでの優勝と鮮烈デビューを果たした平川。2年連続で開幕戦を優勝で飾ったチームにこの日、新たなヒーローが誕生した。

【第2戦～第4戦】重量ハンディに苦戦するも、シリーズ3位で後半戦へ

開幕戦を見事優勝で飾った「KeePer TOM'S RC F」。続く第2戦(富士スピードウェイ)ではGT500クラス最重量となる40kgのウェイトハンディが大きく影響し、まさかの予選14位という結果に。それでも決勝レースでは粘りの走行を見せ、最終的には6位フィニッシュ。大勝負に出ず、確実にポイントを狙う作戦によって、開幕戦に続きランキングトップを維持した。

第3戦はシリーズ唯一の海外開催タイ・インターナショナルサーキット。新たに気持ちを入れ替えて臨むには絶好の一戦だ。しかし蓋を開ければ重量ハンディに加え、サーキットは気温36℃、路面温度62℃という過酷なコンディション。上位進出には、ドライバーの体力やタイヤの摩耗、ピットインのタイミングなどチームワークが重要な鍵となる。予選ではあえてタイムアタックを遅らせてタイヤ摩耗を軽減。6位で決勝進出を果たした。続く決勝では重量ハンディを背負いながらも最後まで6位をキープ。着実にポイントを積み重ねた。



開幕から3戦を終え、ランキング首位に立った「KeePer TOM'S RC F」。しかし徐々に増す重量ハンディの影響が、第4戦(富士スピードウェイ)では予選・決勝ともに12位と振るわず、シリーズランキングも首位から陥落。それでもトップとはわずか8ポイント差。後半戦での巻き返しを誓った。

後半戦

重量ハンディの壁に阻まれるも、最終戦で来季への希望をつなぐ

開幕戦以降、重量ハンディに苦戦を強いられた「KeePer TOM'S RC F」。思うようにポイントが加算できず、最終戦の前に優勝の可能性が消滅する結果に。それでも最終戦は意地を見せて優勝。来季へとつながる勝利で、有終の美を飾った。

【第5戦～第6戦】地道にポイントを重ね、残り2戦に望みをかける



後半戦初戦となる鈴鹿大会は、計1000kmにも及びシリーズきつめの長丁場レース。予選1を平川、予選2をカルダレリがアタックし、予選を6位で通過。ポイント獲得に向けて、好ポジションから決勝に臨むことになった。しかし、小雨が降る中で迎えた決勝では思わぬ事態が起こる。31周目にデグナーカーブで雨水に乗ってしまいコースオフ。トップから周回遅れとなる。それでも最後まで、執念の走行を見せ、8位まで順位をあげてフィニッシュ。ランキングは5位に下がったものの、4ポイントを獲得して優勝戦線に踏みとどまった。

気温25℃、路面温度33℃という残暑の中で行われた第6戦は、宮城県のスポーツランドSUGOで開催。予選を4位で通過し、開幕戦以来の表彰台も狙える好ポジションを獲得。勝負所を探りながら好順位をキープするなど順調なレース展開を見せていたが、65周目に痛恨のドライブスルーペナルティが課せられ、一時は3位だった順位を8位まで落とす結果に。その後もタイムは伸びず、まさかの9位フィニッシュ。シリーズランキングも7位に後退。それでも何とか2ポイントを加算。残り2戦に優勝への一縷の望みが託された。

【第7戦～最終戦】意地を見せた最終戦優勝で最後を締めくくる

何としても表彰台を獲得する。優勝への絶対条件を掲げて臨んだ、決意の第7戦。会場となるオートポリスのサーキットコンディションは気温12℃、路面温度25℃。各チームとも時間をかけてタイヤを温めながらコース状況を確認する慎重なスタートで予選1が幕を開けた。上位進出に向け、何としても好ポジションをキープしたい中、カルダレリ選手がハンドルを握る。しかし想像以上にタイムが伸びず、予選2進出の条件である上位8位を逃す結果に。15位と後方スタートで臨んだ決勝レースでは荒天の中、懸命に順位を上げるも12位止まり。健闘もむなしく、事実上、今シリーズのチャンピオンの芽が絶たれた。

優勝は逃したものの、最後まで意地を見せてほしい。そんなファンの願いに応えるため、栃木・ツインリンクもてぎでのシリーズ最終戦に臨んだ。集大成となる一戦で見事な走りを見せた。荒天でスタートした予選1は5位に終わるも、続く予選2でポールポジションを獲得。開幕戦以来の表彰台に、ファンの期待も膨らむ。そして迎えた決勝。最後まで一進一退の攻防が続く展開の中、見事1位で53週を走りきる。シリーズランキングは5位で幕を閉じたが、来年につながる走りを最後に見せてくれた。



《KeePer TOM'S RC F 2015年シリーズ結果》

	開催日	レース会場	順位	ポイント
第1戦	4/4・5	岡山国際サーキット	優勝	20P
第2戦	5/2・3	富士スピードウェイ	6位	5P
第3戦	6/20・21	チャン・インターナショナル・サーキット	6位	5P
第4戦	8/8・9	富士スピードウェイ	12位	0P
第5戦	8/29・30	鈴鹿サーキット	8位	4P
第6戦	9/19・20	スポーツランドSUGO	9位	2P
第7戦	10/31・11/1	オートポリス	12位	0P
第8戦	11/14・15	ツインリンクもてぎ	優勝	20P
年間ランキング		ドライバーランキング5位	総合ポイント	56P

2015年夏のキーパー選手権 県チャンピオンが集う特訓ツアー開催!

兵庫県神戸市と宮城県仙台市に、2015年夏のキーパー選手権の県チャンピオンが集い、特訓ツアーと題して「ケミカル化学講座」「フリーディスカッション」等を実施。現場の声が行きかい、充実した時間となりました。翌日はキーパーLABO見学と観光でリフレッシュ。次なる目標はもちろん、冬のキーパー選手権制覇です!



2015年夏のキーパー選手権 ドイツ報奨旅行

2015年夏のキーパー選手権の全国優勝、2位、3位の入賞者から2名ずつ、担当のKeePer技研スタッフ4名の総勢10名がKeePer選手権の報奨旅行として、11月10日から3泊5日、ドイツの旅に出発しました。SONAX本社を視察し、「オーディエミュージアム」「ニュルンベルグ」等を見学&リフレッシュ。5日間お疲れ様でした。冬の選手権も頑張ってください!

